

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

2021年9月8日

陳 述 書

大阪地方裁判所 御中

氏 名 田中 昭全

1 自己紹介

- (1) 「結婚の自由をすべての人に」訴訟原告の田中昭全です。1977年(昭和52年)9月16日生まれの43歳です。瀬戸内海に面した香川県三豊市詫間町の博智山のふもとにある小さな一軒家で、同じく原告であるパートナーの川田有希(36歳)(以下「川田」といいます)とメスのラブラドゥードル(プードル、ラブラドル・レトリバーの交配から作られた犬)である「つぶ」の三にん(二人と一匹)で暮らしています。
- (2) 同じ三豊市内の三野町には私の両親が、車で30分ほどのところにある香川県丸亀市には、川田の両親が住んでいます。同じ三豊市内の仁尾町には、私の弟家族が住んでいます。
- (3) 以前は、両親と一緒に旋盤加工の工場を営んでおりましたが、両親が年老いたことから、昨年工場を閉め、現在は、四国を中心として、LGBTについての講演活動、ポスターなどのグラフィックデザイン、イベントの企画運営、映像作品の制作など、アーティストとしての活動などを行っています。

2 思春期時代とセクシュアリティ

- (1) 私は、瀬戸内海燧灘、香川県三豊市仁尾町にある父母ヶ浜にほど近い場所で、1977年(昭和52年)、鉄工所に勤める父と専業主婦の母の間に、生まれま

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

した。また、2歳離れた弟がおります。

- (2) 小学校4年生の頃、隣の席になった男の子が気になるようになりまして。彼とふたりだけの遊びを考え出したりしていたときに、彼を独占できる喜びを感じていました。小学校5年生の頃には、自分が同性愛者であることをぼんやりと自覚するようになりまして、そのうち女の子に興味を持てるようになるのだろうと考え、あまり深刻には考えていませんでした。
- (3) 中学1年生になって、クラスメイトの男の子を好きになりました。この頃から、私に、自分が同性愛者であることの自覚がはっきりと芽生えました。しかし、同性愛者について入ってくる情報は、テレビなどのメディアが発信するものしかありませんでした。テレビが取り上げる同性愛者は、決まってお笑い番組のいじられキャラであり、女性的な仕草や風貌を極端に強調した男性、奇妙な人間、異端者、性的倒錯者のイメージでした。そういう人間には多少の暴力を振るっても許されるような扱いをされていました（私は怖くて見ていませんでしたが、とんねるずの番組で「保毛尾田保毛男（ほもおだほもお）」というキャラクターが人気を博していたような時代です）。私は、これらの同性愛者像と自分自身のそれには大きなギャップを感じましたが、一方で、テレビでしか知ることのできない同性愛者像を自分と重ねあわせざるを得ず、もし友人に自分が同性愛者であることを知られてしまったら自分もテレビと同じように扱われるのではないかと強い恐怖を感じました。当時、学校ではイジメが横行し、自分も上級生にいじめられていたこともあり、私は、自分が同性愛者であることは絶対に他の誰にも言わないでおこうと心に決めていました。
- (4) 同級生から「好きな女の子は誰か？」と尋ねられることがありました。自分が同性を好きであることは言えませんから、アイドルや女優さんの名前を出すなどしてその場をしのいでいましたが、中学3年生のとき、幼少のころ親しくしてい

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

た女の子の名前を出してしまったことがありました。すると、その話が瞬く間に学年中に知れ渡ってしまい、その女の子の彼氏が私のクラスの教室に突然やって来て、私は一方的に殴られました。殴られるのが理不尽だと思いながらも、自分が同性愛者であることが他人に知られるよりはまだマシだと冷静に考えている自分がありました。

- (5) 私は、香川県内の工業高校の電子機械科に進学しました。高校2年生の頃に、クラスメイトの男子と親密な関係になりました。一緒に下校して本屋に行ったり、高校の最寄り駅までおしゃべりしながら歩いたり、ふと相手の髪や身体に触れたり、彼と過ごす時間はとても心地よく、とても幸せでした。私にとって、それはまぎれもなく恋愛感情でした。しかし、先にも述べたとおり、私は、自分が同性愛者であることは誰にも言わないでおこうと決意していましたし、現実世界で自分以外の同性愛者の人に会ったことがなかったため、どうすれば自分が同性と恋人同士になれるのか、見当さえつきませんでした。高校卒業とともに彼とは離れましたが、彼のことが忘れられず、その想いをその後何年も引きずるところとなりました。

- (6) 自転車で本屋さんを巡るのが好きだった私は、高校生の頃、詫間町にあった小さな本屋さんで「Badi (バディ)」というゲイ雑誌を見つけました。勇気が出ず、なかなか手に取ることすらできませんでしたが、何度か本屋さんに通ううち、他の本で隠すようにして何とか購入することができました。しかし、以後はほとんど購入しませんでした。というのも、その雑誌は、エロティックな写真や広告が誌面の大半を占め、自分の生き方の参考となる情報があまり載っていなかったからです。

- (7) 当時はまだインターネットなどありませんでしたから、現実の同性愛者と出会う手段はありませんでした。思春期には、「この世界で同性愛者は自分一人だ

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

けなんだ」と感じ、孤独感を深めました。楽観的な性格の私ですが、一時は追いつめられて死にたいと思ったこともありました。

もしこの当時、この国に同性婚が存在していたら、そしてその制度を使いカップルとして幸せな日常を送っている人々がいると知ることができていたら、私はあれほど孤立することはなかったでしょうし、将来にも望みを持つことができただろうと思います。

3 カミングアウト、プライド香川との出会い

- (1) 高校を卒業し、香川県内の企業に就職しましたが、アートの活動をしたかった私は、3年ほどで退職しました。その後は、ラジオ局の音響オペレータなどのアルバイトをしながら、アーティスト活動をしていました。
- (2) 自分が同性愛者であることを初めて他者にカミングアウトしたのは23歳の頃です。同性愛者に関する情報に積極的には触れておらず、そして同性同士のパートナーシップのロールモデルにも出会えることのなかった私自身、「ゲイ」は単に同性と肉体関係を結びたいだけ、性的欲求をまかない合っているだけで、生涯にわたったパートナーシップを築き合いたいと考えている人はほとんどいないというような、間違った認識やひどい偏見、いわゆるホモフォビア（同性愛嫌悪）が、自分のなかにもありました。また、自分のセクシュアリティをまだ認めたくないという気持ちもあり、それと向き合わないよう、アートの活動に没頭し、そちらでエネルギーを使い果たそうとしていたように思います。

そんな中、23歳の頃、以前参加したアートワークショップで知り合い親しくしていた友人女性から「田中君は彼女とかいるの？」と聞かれました。一瞬躊躇はしたのですが、このタイミングで告白しないと今後ずっと彼女に嘘をついた状態になってしまうと考えました。私は「ぼくは同性しか好きになれないんだ」

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

という言葉、絞り出すようにして伝えました。私はその瞬間、堰を切ったように泣き出してしまいました。初めてのカミングアウトでした。それまで誰にも言っていない自分のセクシュアリティについて、独りきりで抱え続けるには限界だったのかも知れません。友人は「田中君は田中君だから」といってくれ、私の気が済むまで泣かせてくれました。私はこれがきっかけとなり、信頼できる友人には徐々にカミングアウトするようになっていきました。

- (3) 友人にカミングアウトする前、22歳の頃、香川県内でセクシュアルマイノリティの自助グループであるプライド香川が主催する音楽イベントがありました。私は知人に頼まれ、そこで映像演出を担当しました。このとき、私は、今回の裁判で陳述書も出してくれている、プライド香川代表の藤田博美さんと出会い、プライド香川の活動を知るところとなりました。しかし、先に述べたように自分自身にもホモフォビア（同性愛嫌悪）の感情があり、自分がゲイであることを他者に知られる恐怖などから、その後もしばらくはプライド香川に参加するには至りませんでした。

しかし、先の親しい友人へのカミングアウトを経て、自分のセクシュアリティをいよいよ現実のものとして受け止めなくては、向き合わなくては、と感じるようになりました。このまま誰とも親密な関係を築けないまま生涯を終えるのは嫌だったのです。

また、20代後半になり、両親が結婚を急かすようになりました。毎日のように「奥さんもらって孫の顔を見せろ」といわれることが、とても辛く、いたたまれなかったのです。あるお正月、仕事が終わる次第、親戚の集まりに顔を出すと両親に約束していたのですが、顔を出したところで、既に結婚して子どもを持つ従兄弟たちと比べられ、またしても結婚を急かされることが目に見えていたので、私は、仕事を終えて帰宅しても、その集まりには行きませんでした。私は、

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

親からの電話にも出ず、自室のベッドのなかで泣いていました。帰宅した両親から集まりに行かなかった理由を尋ねられたときも、私は、気分がすぐれなかったからと嘘をつきました。

当時、好きになった人が同性愛者ではなかったことから、叶わぬ恋心を抱えてとても辛かった時期でもありました。これではいけないと思い、同性愛者の出会い系サイトを通じて何人かの人と交流するようにはなりましたが、信頼し合えるパートナーシップには至りませんでした。

自分が同性愛者であることを両親にカミングアウトしたら楽になれるのかなとも思いましたが、パートナーのいない状況でカミングアウトしても信じてもらえないのではないか、同性愛が「治る」ものだと思われはしないかなどと考えると、なかなかカミングアウトできずにいました。特に、父親は、家父長的な考え方が強かったことから、父親には理解されないだろう、勘当されてしまうだろうと予測していました。

そのようなこともあり、私はいよいよ現実に自分のセクシュアリティと向き合わざるを得ないと感じ、2004年の春、27歳の頃にプラウド香川に参加するようになりました。

- (4) プラウド香川では、ホームページデザインのリニューアルや会報の表紙のイラストレーションなどを担当したり、勉強会に参加したりしました。自分以外の性的少数者に実際会ってみて、自分が同性愛者であることは何も後ろめたいことではないんだと感じられるようになりました。好きになる相手が同性というだけで、何も違いはないのだと感じられるようになりました。

日本で初めてトランス女性であることを公表して地方議会選挙に出た上川あやさん(現世田谷区議会議員)が講演に来てくれたときのことをよく覚えています。上川さんの「なぜゲイのあなたたちは婚姻届を出さないのか?そういうアク

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

ジョンが行政を動かすのだから、ちゃんと行動に移さないと！」という言葉に、当時まだパートナーがいませんでしたから「そんなこと言われても！」と思ったのですが、それでも大変感銘を受けました。制度を求める市民がいるということをしつかり伝えなければ、制度を作る側も動きようがないのではないかと思うようになりました。

この講演を聴いたことは、私がおのち、日弁連への同性婚人権救済申立やこの同性婚訴訟に参加するきっかけとなりました。

プラウドの勉強会では、2001年にオランダで同性婚が導入されたことや1999年にはフランスでパックス法が成立していたことなど、世界の情勢も勉強していました。海外の事例ではあれ、同性カップルが「家族」として扱われる制度ができつつあることに、救われるような思いでした。政治が私たちの生活にとって身近なものであり、政治との関わりは人の営みに不可欠であることを強く思い知らされました。

4 川田との出会い、親へのカミングアウト

- (1) 2007年の12月中旬、高松市内の喫茶店を貸し切って行われたプラウド香川のクリスマスパーティーで、私は川田に出会いました。アートの活動をしていた私と、演劇の舞台制作に携わっていた川田とは、間もなく意気投合し、2008年1月1日、交際を開始しました。
- (2) 私は当時、実家の敷地内にある、両親とともに経営する旋盤加工の工場の2階の住居スペースで一人暮らしをしていましたが、交際開始と同時に川田が私の家で生活するようになり、二人の同棲が始まりました。私が30歳、川田が22歳でした。

毎日のように川田が車で家にやってくるようになると、両親は「あれは誰なの

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

か」「なんで毎日家に来るのか」などと訝しがるようにになりました。その年の2月に個展を控えていたので、当初は、個展の準備を手伝ってくれている友人だと言って誤魔化していましたが、個展が終わっても毎日やってきていたので、いよいよ誤魔化しきれなくなっていました。

工場の休憩室で、昼休み、川田について尋ねる両親に対し、私はとうとう「彼は恋人です。ぼくは同性しか好きになれない人間なんです」とカミングアウトしてしまいました。その途端、父は「出て行け!」と怒鳴りました。家父長的な考え方の強い父には理解されないだろうと覚悟していたので、父の望みどおり荷物をまとめて家を出て行く準備をすべくその場を立ち去ろうとしたところ、母親に引き留められ、そのまま半日にわたる家族会議になだれ込みました。

私は極力冷静に説明しましたが、父は、私の言葉にいちいち逆上して「お前がうちの家を継ぐんやなかったんか」「そういう人間とつき合っとるきん、そんなことになるんや」「世間や親戚に顔向けできん」「育て方を間違えた」などとひたすら偏見をぶつけてきました。

一方で、母は、私を育ててきたなかで感じていた違和感がすんなりと腑に落ちた、といいました。夜まで続いた粘り強い対話で、父にも何とか納得してもらい、私と川田は家を出ていかなくてもよくなりました。

- (3) もともと社交的な川田は、仕事の行き帰りにたびたび両親に挨拶をしてくれました。敷地内で両親と顔を合わせれば、何でもない話題で立ち話したりしてくれました。このようなこともあって、川田と両親との距離はあっという間に縮まっていきました。その年(2008年)、家族でかけている保険についての、年に一度のバス旅行に行く際、両親から「昭全はどうする?」と聞かれたのですが、私が「有希(川田)も連れていっていい?」と尋ねたところ、両親ともに了承してくれたので、私と川田も、近所のひとたちと参加するバス旅行に参加したのでし

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

た。さすがにパートナーであるとは言えず、川田を従兄弟ということにして、家族四人でバス旅行に参加しました。2009年のバス旅行も、両親と私、川田の四人で参加しましたし、その四人で、一緒に、瀬戸内国際芸術祭で賑わう瀬戸内の島々を巡ったりもしました。父も、私たちが幸せそうにしている様子を見てきて、納得したのではないかと思います。今では、お互いの両親同士の交流もできるようになりました。また、私の父は、息子（私や弟）と酒を酌み交わすことが夢だったようですが、私や弟はアルコールに弱く酒をほとんど飲まないのも、その夢もまだ叶っていなかったのですが、現在は、酒好きな川田が代行してくれています。父が川田に酒をすすめる様子などを見ていると、川田のことをすっかり息子として接してくれているので、本当によかったなと思います。

5 私と川田の生活

(1) 私は、それまで、よほど信頼できる友人にしかカミングアウトしていませんでしたが、2008年に川田との同棲生活を開始し、両親にカミングアウトしてからというもの、同性愛者であることや川田とのパートナー関係を完全にオープンにしました。

私たち二人の生活は、2008年当初から、法律婚をしている異性カップルと何ら変わりはありません。二人で寝食を共にし、共に遊び、共に旅行をし、共に笑い、喧嘩もします。

ア 2011年には、川田が、ワーキングホリディビザで英国に1年数か月間滞在し、その間は別居となりましたが、新婚旅行を兼ねた英国旅行をしたり、日常的にテレビ電話でコミュニケーションを重ねたりなどして、私たちのパートナー関係は続きました。

川田が英国で体調を崩し、川田の両親と私で迎えに行くことになりました

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

た。川田が入院し、病状や治療法も全く把握できなかつたため、とにかく心配でした。ロンドンの病院で面会が叶い、とりあえず大丈夫そうな川田の様子をみたときは、心底ホッとしました。帰国するため空港へ向かうタクシーのなか、川田の手をずっと握っていたことを印象深く思い出します。

イ 2014年4月には、ラブラドゥードルの「つぶ」を飼い初め、二人と一匹での暮らしになりました。

「子はかすがい」といいますが、私と川田にとっては、愛犬がまさしく子どもです。外出するときは、できるだけ一緒に行くようにしています。室内飼いなので、文字どおり寝食を共にしています。募る愛情もひとしおです。

ウ 私の「田中」という姓とパートナーの「川田」という姓のどちらにも

「田」という字が入っていることから、私たちが二つの姓を繋げて「川田中家」と名乗るようになると、友人や知人たちも皆、そう呼んでくれるようになりました。

エ いわゆるセレモニーとしての結婚式などは挙げていませんが、2016年には、岡山のウエディングプランナーさんがLGBT向けのウエディングプランを立ち上げるので告知物などのモデルになって欲しいと頼まれ、二人で羽織袴を身に纏い、岡山美観地区でウエディングフォトを撮ってもらいました。

(2) また、私も川田も、これまでアートやイベントに携わってきたことから、2015年からは、「川田中商会」という屋号で、各種イベントを主催するなどしています。具体的には、これまで、映画の制作、上映会、レコード鑑賞会、DJイベント、舞台作品の制作公演、トークイベントなどを実施してきました。

「川田中商会」を通じて川田と目指すのは、香川県三豊市という地域がアートや文化に造詣のある場所となることです。文化的、芸術的な営みの少ない地方の

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

現状を、私たちの手で少しずつでも改善していけたらと思っています。

- (3) 2013年、私たちは、三豊市の空き家バンクを活用して、現在住んでいる、三豊市詫間町にある築40年の中古住宅を購入しました。

この家の購入には、経緯がありました。

- ア 妻子と三豊市仁尾町内のアパートに住んでいた弟が、突然「兄がゲイで子どもが生まれないから自分が田中家を継ぐ」などと言いだし、実家で暮らしたいと言い出しました。

川田が英国に行く前のことでした。

私には子どもがもうけられない負い目もありましたし、弟が実家に戻って家を継ぐ意志があるのであればそれに越したことはないと思ひ、反対はしませんでした。

- イ しかしその後、父が「弟が『実家に戻るにあたり（私たちに対し）離れ（実家敷地内工場二階住居スペース）から出て行くか別れて欲しい』と言っている」と言い出しました。

大変ショックでした。

弟が、私と川田が同じ敷地内に住むことを嫌がっているということもショックでしたし、それを何ら諫めることなくそのまま私に伝えた父の言動にもショックを受けました。

- ウ 勿論、川田と別れるつもりなどありませんでした。当然ながら、私たちは実家の敷地から出ていくことを選択しました。

父に、弟が私たちと暮らしたくない理由を尋ねたところ、「子どものおじさんがゲイだと知られたら子どもがいじめられる。それは困る」ということでした。子どもの校区内でなければ良いということをお父さんを通して確認できたので、私が高校2年生の頃まで生まれ育った三豊市仁尾町の借家を、親戚か

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

ら買い取って川田と二人で住むことに決めました。

エ 仁尾町の家売買契約まであと数日となり、父が、弟にそのことを報告しました。すると弟が激怒し、実家に乗り込んできました。

弟は、「なんで自分の友人が多く住んでいる仁尾町に引っ越してくるんや！」と怒っていました。そのまま家族会議をしましたが、弟は癩癩がおさまりません。

もともと、弟が私に家を出ていけといった理由は、姪っ子が学校でいじめられるのが困るということでしたので、私は、姪っ子が通う学校の校区外であればいいということをわざわざ確認しました。まさか、校区外にある仁尾町に引っ越すことまで否定されるとは思いもしませんでした。これほど私と川田の関係を全否定されるとは。私は再び大きなショックを受けました。弟は、姪っ子をだしにして、ゲイカップルである私たちを自分の周りに住まわせたくなかっただけなのです。私は腹が立つと同時に呆れてしまい、もう弟とは関わりたくないと強く思い、仁尾町の家を購入することを断念しました。

家の持ち主であった親戚には、急に買うことができない事情ができたと謝りました。気心の知れた人を買って欲しいという希望があった親戚のおじさんは、とても残念そうでした。

オ この一件があつてからというもの、私は弟家族と一緒にすることを避けるようになりました。お盆や正月にも、実家には顔を出せなくなりました。姪っ子に、私がゲイであることや私と川田がカップルであることを伝えるわけにはいかないと考えたからです。もし姪っ子が無邪気に学校で私たちのことを話してしまいいじめられたとすれば、弟から言いがかりを付けられることになりかねません。

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

カ 結局、弟家族は実家に戻らないことになりましたが、これ以上私たちも生活をかき乱されるのは避けたかったので、私たちは、何より自分たちが安心して暮らすため、別の家を買うことにしました。

三豊市の空き家バンクに登録し、家探しを始めました。

2013年、三豊市詫間町に、今私たちが住んでいる、小さな平屋の一軒家を購入しました。詫間町には、私たち二人を付き合い始めのころから見守ってくれている友人、カツベさんの喫茶店「レイジーボーン」があるからです。

キ 私たちは、2020年夏、知り合いの大工さんに技術提供をしてもらいながら、私と川田も自分の手を動かす形で、自分たちの家を改築しました。2021年2月からは、住まいを三野町の実家からここに移しています。私たちは、この家を「one koan (わんこあん)」と名付けました。

この家の隣には、友人であるダンサーのカップルも引っ越してきました。また、私のアーティスト活動をサポートしてくれる友人やアート仲間、川田が制作者として関わる演劇人などがこの家にたびたび集い、地方からアートや文化を発信するべく熱い議論を交わします。

私と川田の愛の巣であり、私と川田が関わる文化の発信基地でもあるこの家は、実質的にふたりの共有財産となっています。

- (4) このように、私と川田は、13年以上に渡って苦楽をともにする、自他共に認めるパートナーであり、内縁、ないし事実婚関係にあります。その実態は法律婚をしている男女のカップルや事実婚の男女カップルと何ら変わりません。

6 同性カップル当事者としての活動と父親の変化、親戚の受け止め

- (1) 2008年に川田というパートナーを得て、同性愛者であることを完全にオー

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

ブンにした私は、2013年には、男性同性愛者を主人公にした「エソラ」という短編自主制作映画を監督し、男性同性愛当事者の映画監督として、NHKの地元放送局や新聞などにその活動が取り上げられたりするようになりました。

- (2) また、先に述べたとおり、私と川田のパートナーシップも長くなり、二人の将来のために私名義で家を購入するなどしました。

法律婚ができない私たち同性カップルは、片方が死んでもパートナーに財産を相続させることができません。また、遺言でパートナーに財産を残したとしても、相続税の配偶者控除も使えません。養子縁組制度を利用すればよいという意見もありますが、私と川田は対等な事実婚関係であり、養子縁組は全く私たちの関係にそぐうものではありません。

実態にそぐわない制度をなぜ利用しなければならないのでしょうか。民法も、私たちのようなカップルが養子縁組制度を利用することなど想定していないはずです。また、私や川田が病気や怪我で重篤な状況になったとき、法律婚でないと医療同意や面会ができないのではないかと、不安は尽きません。

私たちに必要なのは、異性カップル同様に、法律婚による法的、社会的な保護を受けられることです。

そこで、私たちは、自分たちの将来のため、同性カップルの権利保障、同性婚やパートナーシップ宣誓制度実現という観点からも、活動をするようになりました。

- (3) 2015年、私は、Twitterで、同性カップルが法律婚できないことについて日本弁護士連合会へ人権救済申立をする申立人を募っているという情報を目にしました。同性婚を求める当事者が地方にもいることを可視化したいと思い、私は川田に申立人に名を連ねることを提案しました。川田は二つ返事です承してくれ、私たちは、人権救済申立の申立人となりました。

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

全国から455人が申立人になりましたが、香川県から申立人となったのは、私たち二人とプラウド香川の藤田博美さんの3人でした。申し合わせたわけではなく、藤田さんも私たちと同じ願いだったのだと思います。

2015年7月7日の人権救済申立の際、私と川田は、霞ヶ関の司法記者クラブでの記者会見に、地方に暮らす同性カップルとして、顔と名前を出して参加しました。

人権救済申立のニュースは、全国ネットで報道されました。

記者会見の翌日、川田と銀座を歩いていると、後ろから、お喋りする中高年女性たちの声が聞こえました。人権救済申立のニュースについて「あの人たち（私たち同性カップルの婚姻を）認めてあげればいいのかよ」と言っていました。さすが都会！と思うとともに、堂々と顔を出して記者会見に参加してよかった、そう感じました。

東京での人権救済申立を終えて香川に戻ると、全国ネットのテレビ報道を知った父がパニックになっていました。私と川田の関係自体は受け入れていた父でしたが、私たちが同性愛当事者として人前に出ることは恥ずかしいと思っていたようです。パニックになった父は、自身の兄に電話をして私の行動を謝罪したということでした。父は「テレビに出てくれるな」「メディアに出るな」「お前が先頭に立って旗を振るな」と私に迫りました。しかし、私は、自分たちの人生のため、引き下がるつもりはありませんでした。私は父に「あなた（父）は先に死ぬのだから、今後20年も30年も生きていかなくちゃいけない僕たちの人生にまで、いちいち干渉せんといて」と吐き捨てるように言ってしまいました。

この全国ネットの報道などで、私の父方、母方の叔母たちも私が同性愛者であることや川田との関係性を知るところとなったようでした。叔母たちは、父のようにパニックになることもなく、むしろ、母を「(私と川田を) しっかり応援し

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

てあげないかんで」と励ましたり、直接私に「応援してるよ」とメールをくれたりしました。

- (4) 2015年8月には、香川県知事に対し、パートナーシップ宣誓制度や同性カップルの権利保障について質問するメールを送りました。しかし、浜田恵造香川県知事からは「ご意見のありました戸籍制度や相続税等の税制に関することについては、条例で当該法令に反する内容を定めることはできないため、やはり、国において法整備を行っていくことが必要であると考えます。」との回答があり、結局、国が同性婚を認めてくれなければどうしようもないのだと痛感しました。
- (5) 2015年11月に渋谷区と世田谷区でパートナーシップ宣誓制度が導入されたことから、私は、居住している三豊市のホームページから、香川県知事に送ったものと同様に、パートナーシップ宣誓制度の導入や同性カップルの権利保障について要望するメールを送りました。これに対し、三豊市役所市民部市民課の森さんから「お問い合わせいただいたパートナーシップについて、三豊市での条例制定を望まれているとのことですが、本市としてはまだ情報も少なく慎重な検討を要することから、他の自治体や国の動向に注視してまいりたいと思います。」との回答がありました。地方が変わるにはまだまだ時間がかかるのだろうか、そう感じずにはいられませんでした。
- (6) そんななか、2017年になり、川田の実家があり川田自身も当時住民票上の住所を置いていた香川県丸亀市（同性カップルは法律婚できず、川田を私の扶養に入れることができなかったので、当時、私たちは川田の住民票を川田の両親のところに置いていました）が、中四国で初めてパートナーシップ宣誓制度を導入するという報道がありました。

私と川田は、プラウド香川のメンバーとして、2017年の一年間、丸亀市の職員との意見交換に何度も参加しました。

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

私たちは、丸亀市のパートナーシップ宣誓制度導入を心から楽しみにしていました。

しかし、いよいよ2018年4月から制度スタートという時期になって、2018年2月、丸亀市議会議員たちから制度導入に反対意見が出てしまいました。反対した議会の反応は当然残念でしたが、条例ではなく要綱なので、たとえ議会の反対があったとしても市長の決断次第で導入することは可能でした。しかし、議員から「制度を必要とする当事者なんかいるのか」と問われた市長は、これにきちんと答えられず、あっさりと制度導入を断念してしまいました。

一年間、本当に何度も丸亀市役所に足を運び、市の職員と意見交換するなかで導入されるはずだっただけに、市長が腹をくくってくれなかったこと、大変悔しい思いをしました。あれから3年経った今も、丸亀市ではパートナーシップ宣誓制度は実現していません。

- (7) 2018年、ゲイのアクティビストである松中権さんなどから、全国で同性婚訴訟を一斉提起する動きがある、と聞きました。私たちは同性婚人権救済申立に参加していましたが、当時は、まさか訴訟の原告になるとは思っておらず、応援しようくらいに思っていました。

そんななか、2018年の年末、人権救済申立弁護団の弁護士さんから同性婚訴訟の原告にならないかとお話しをもらいました。地方にも同性カップルはいるのだ、同性婚を必要としている当事者がいるのだということを可視化したいと思い、川田と相談し、本訴訟の原告となることを決めました。

- (8) 2019年2月4日、私と川田は三豊市役所に出向き、婚姻届を提出しました。結婚の証人は、私たち二人を長らく見守ってくれていた大切な友人たちに頼みました。一人は、先に述べた「レイジーボーン」のカツベさんをお願いしました。婚姻届を出すというと友人たちはみな祝福してくれ、準備をしている間、ず

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

っとワクワクしていました。私たちが結婚状態になって既に12年です。結婚できない方がおかしいのです。

しかし、無慈悲にも、婚姻届は受理されませんでした。期待してしまっただけ、辛かったです。私たちはこの社会から「いないこと」にされ続けているのだということを改めて思い知りました。

市民課の森さんという女性が対応してくれ、婚姻届を受け付けられないことを申し訳なく思っていること、三豊市もパートナーシップ宣誓制度導入を検討していることを教えてくれました。その後、森さんは、私たちを人権課に繋いでくれ、私たちは、三豊市のパートナーシップ宣誓制度構築のお手伝いをさせていただくことになりました。私と川田は、細かな制度設計について意見し、私は、デザイナーとして、パートナーシップ宣誓制度の宣誓証明書のデザインや、制度周知のためのポスター制作を担当させていただきました。

2020年1月1日、四国初となる三豊市パートナーシップ宣誓制度が実施され、私と川田は、2020年1月17日、第1号となる宣誓を行いました。私と川田は既に12年間共に歩んできた、自他共に認めるカップルではありましたが、私たちの関係が公的に認められたのはこれが初めてでした。

三豊市では、今までに3組のカップルが宣誓しています。

実は、私たちの婚姻届提出の際に対応してくれた市民課の森さんは、私が2015年12月に三豊市にパートナーシップ宣誓制度や同性カップルの権利保障について問合せをした際、お返事のメールをくださった方でした(本章(5))。森さんは当時、市民のニーズに応えられないことを心苦しく思い、いつかパートナーシップ宣誓制度を実現したいと、私からのメールをプリントアウトして大切に保管していたとのことでした。

(9) 2020年2月、私たちと訴訟復代理人である佐藤倫子弁護士(佐藤弁護士は

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

私たちと同じ香川県三豊市民です)は、山下昭史三豊市長や制度実現に尽力してくださった人権課、市民課の職員さんにも登壇していただき、三豊市パートナーシップ宣誓制度記念イベント「様々な家族について考える」を実施しました。

三豊市長は「パートナーの二人の関係を市が証明することで当事者にとっての心の支えになる」「制度導入により市民の理解増進に繋がる」「当たり前のことを当たり前として、市民として当たり前で暮らせる社会を作りたい」と述べ、パートナーシップ宣誓制度導入の理由を「そこに困っている人がいるから」と語りました。

地方にも同性カップルはいるのだ、と川田と私が名前と顔を出して取り組んできたことがこうして伝わったことを、とてもうれしく感じました。

(10) 三豊市がパートナーシップ宣誓制度を導入し、私たちがパートナーシップ宣誓をしたことは、私の親戚にも影響を与えたようでした。

すなわち、三豊市が四国で初めてパートナーシップ宣誓制度を導入し、私たちが第1号の宣誓を行ったことは、岡山香川のローカルテレビ局で報道されました。すると、私たちのニュースを観た親戚のおじさんは、びっくりして「昭全がテレビ出とる！どうしてや？一体何なんや？」と、息子さんに尋ねたそうです。息子さん、同性婚がないことの問題やパートナーシップ宣誓制度について説明してくれたとのことで、おじさんは、翌日早速、岡山からわざわざ瀬戸大橋を渡り、香川にある我が家まで、「結婚祝い」のお祝い金を持ってきてくれました。おじさんの気持ちもうれしかったですし、おじさんにきちんと説明してくれた息子さんの好意も、ありがたかったです。

人権救済申立の報道から私たちのことを知ってくれ、応援してくれている叔母(母の妹)も、私たちのパートナーシップ宣誓の報道を観て、お祝い金を持ってきてくれました。

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

また、2020年2月に実施した、三豊市長も登壇したイベントには、2015年の人権救済申立のときに「テレビに出てくれるな」「メディアに出るな」「お前が先頭に立って旗を振るな」と言っていた父が、初めて、性的マイノリティに関するイベントに足を運んでくれました。市が同性カップルを制度として認めたことで、父もようやく理解してくれたように思います。

このように、私たちの住むような地方では特に、国や自治体などの「権威」が作る「制度」が、人々の意識に影響を与えるところが大きいように思います。私たちの関係が「公的に」認められたことで、親戚や父は、私たちの関係を肯定的なものとして受け入れることができたのです。

7 終わりに～私たちは同性婚を実現したい～

(1) このように、私と川田は、2008年から13年以上にわたってパートナーの関係にあり、何ら異性カップルと変わらない生活を営んでいます。

2020年1月には三豊市のパートナーシップ宣誓制度で宣誓を行い、親戚にも祝福される場所となりました。報道でパートナーシップ宣誓を知った友人からは、「結婚おめでとう」と言われたりもしました。

(2) 確かに、パートナーシップ宣誓制度によって、市立病院で家族として扱ってもらえたり、自分たちの住む自治体が同性カップルである自分たちを受け入れてくれているという安心感はありますが、パートナーシップ宣誓には法的効果はありません。相続もできないですし、たとえ将来養子を迎えたとしても、二人で共同親権をもって子どもを育てることもできません。法的には赤の他人です。いくら皆から「結婚おめでとう」と言われても、残念ながら、私たちの関係は「婚姻関係」ではないのです。

(3) 私たちの関係は、法律婚ができる異性カップルのそれと何ら変わらないのに、

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第9回期日(20210924)提出の書面です。

どうして同性カップルであるというだけで法律婚ができないのか、異性カップルが享受できる利益を享受できないのか、全く理解できません。

- (4) 私たちは、地方に住む同性カップルとして、たまたま顔や名前を出してオープンにして生活することができましたが、それが叶わない同性カップルはたくさんいます。

地方では、近所づきあいや親戚づきあい、学校の交友関係、職場関係、どれも重なっており、人間関係が濃密です。あそこの誰それが結婚した、離婚したなどと、自分から言ってもいないことに尾ひれがついて、ひどい噂話になって回っていきます。

誰もが、私のように、他人が何と言おうが気にしないという鈍感力を持てるわけではありませんから、多くの当事者は、家族や親戚に配慮して、同性パートナーとの関係をオープンにできないのです。

しかし、もし国が、同性カップルの当然の権利として同性婚を認めてくれれば、この状況は一変するでしょう。先に述べたとおり、人の意識は権威や制度によって影響される、作られるところが大きいです。地方では、それが顕著だと思っています。

同性カップルが結婚できないことは人権侵害なのだ、平等違反なのだとか裁判所で明らかにされることで、多くの人々の同性カップルや性的マイノリティに対する意識は大きく変わると思いますし、若い当事者たちも、将来に希望を持つことができるようになると思います。

- (5) 裁判所が、私たちの願いに応じてくださることを心から願っています。

以 上